琉球大学学術リポジトリ

辺土名高等学校　サイエンス部　「大宜味村及び周辺の野鳥調査」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 琉球大学21世紀COEプログラム 公開日: 2008-12-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 新崎, えみ, 儀保, まどか, 比嘉, 瑞恵 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/8590

辺土名高等学校 サイエンス部

「大宜味村及び周辺の野鳥調査」

発表者: 新崎えみ・儀保まどか・比嘉瑞恵

辺土名高校ではかつて、生物部の研究でノグチゲラ調査などを実施したことがある。昨年は森林総合研究所「小高氏」等と合同調査を行い国頭3村の野鳥(ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、アカヒゲ)の分布調査を行った。本校は大宜味村を担当した。その結果を基に、沖縄県が15年前に行った調査結果と比較し、2007年の分布状態と1993年頃とを比較した結果、ヤンバルクイナで特に分布域が縮小し沖縄島北部に分布域が追いやられていることを示した。逆にノグチゲラやアカヒゲでは多少分布域の回復が見られることも示した。今年は本校単独の調査を行い、4月から6月までの繁殖期間に、昨年同様鳥の鳴き声を流しその反応で個体数を確認する「プレーバック法」を行い大宜味村全域と国頭村の一部で分布状態を確認した。当日のシンポジウムではその成果を報告する。